

はじめに ～人と自然との共生をめざして～

日本は、国土面積はそれほど大きくありませんが、南北に長いこと、周囲を海洋に囲まれていること、ちょうど気候帯が変化する緯度に位置していること、海拔0m～3776mという大きな標高差があることなどから、多様な自然環境を有しています。

この豊かな自然環境を確実に保全し、自然と人との間の豊かな交流を保つことによって「人と自然との共生」を確保することがますます重要になってきています。われわれの世代だけでなく、将来の世代においてもこの豊かで多様な自然環境を享受できるようにしていかなければなりません。

環境省に求められる役割はますます広がりを見せています。本パンフレットでは、その多岐にわたる、環境省自然環境局の業務を御紹介します。



目次

知る *knowledge*

1. 日本の自然環境	
1.1 日本列島の概観	2
1.2 土地利用の概況	2
1.3 植生	2
1.4 生物相	3
1.5 現存植生図	4

取り組む *enforcement*

2. 行政の体系	
2.1 自然環境保全制度の概要	5
2.2 第三次生物多様性国家戦略	6
3. 自然環境保全地域	7
4. 自然公園	8
5. 多様な自然環境の保全・再生	
5.1 森林・緑地・河川等の保全	12
5.2 里地里山の保全・再生	12
5.3 自然の再生	13
5.4 ナショナル・トラスト運動	14
5.5 世界自然遺産	14
6. 野生生物の保護管理	
6.1 絶滅のおそれのある野生動植物の保護	15
6.2 野生鳥獣の保護管理	19
6.3 特定外来生物等への対応	21
自然環境保全関連指定地域図	22
7. 自然とのふれあいの推進	
7.1 自然公園等における自然とのふれあいの場づくり	24
7.2 自然とのふれあい活動の推進	30
7.3 エコツーリズムの推進	31
8. 飼養動物の愛護・管理	33
9. 国民公園等	34
10. 自然保護行政の歩み	35

つながる *connection*

11. 情報の収集と活用	
11.1 自然環境保全基礎調査	36
11.2 モニタリングサイト1000	37
11.3 情報の提供	38
11.4 生物多様性センター	39
12. 国際協力	
12.1 国際条約等	40
12.2 途上国に対する国際協力	42

環境省の組織	44
--------	----

